

## 面倒なお使い

ビヒェルパウアー（下男のミヒルに）　すぐに車に馬をつないでな、荷馬車でもってオルヒングへ、ベルガーとこのパウリの家へ行つて、あの古い木箱を取つてきとくれ。あいつ、まだ返してよこさないんだ。

ミヒル　箱を取りに行くんですか？　そんな話、全然聞いてませんが。

ビヒェルパウアー　お前が聞いてないのはわかつてる。だから今、話したんだ。

ミヒル　パウリさんは、俺が箱を取りに行くつての、知ってるんですかい？

ビヒェルパウアー　知りはせんよ。箱を取りにきたと、奴に言うように、お前を行かせるんだから。

ミヒル　でも、もしパウリさんが家にいなかったら？

ビヒェルパウアー　パウリが家にいなかったら、もちろんお前は奴には言えないさ。だが、かみさんがいるだろう。

ミヒル　じゃあ、そんなときはベルガーのおかみさんに言うんですかい？

ビヒェルパウアー　むろんだ。

ミヒル　おかみさんは、箱のありかを知らないかもしれませぬね。

ビヒェルパウアー　かみさんが知ってるかどうか、わしだって知らんよ。

ミヒル　もしおかみさんが知らなかったら、どうしましょう？

ビヒェルパウアー　どうするかな。なら、パウリが帰るまで待つんだな。

ミヒル　でももしパウリさんが帰らなかったら、どのくらい待てばいいのか、おかみさんに聞くんですか？

ビヒェルパウアー　聞いてもいいだろう。

ミヒル　あした行く方がいいって気がするんですがね。きょうよりもパウリさんがことによると確実に家にいるかもしれませぬよ。

ビヒェルパウアー　馬鹿みたいなこと言うな。あしたはきょうよりもっと家にいないってこともある。

ミヒル　よくわからなくなつちまつただけど、きょう行くんですかい？　それともあした？

ビヒェルパウアー　今すぐ車に馬をつないで行くんだ。で、もし箱が手に入

らなかつたら、空つばの車で戻ってくればいい。

ミヒル：そんなのいやですね。車に馬をつけて出かけたのなら、どうしたって箱を持って帰りますよ。遠乗りなんてご免だね。

ビヒエルパウアー　遠乗りなんてする必要はない。パウリのかみさんが家にいれば、箱は受け取れるんだ。あの箱はわしのものなんだから。

ミヒル　ねえ、旦那、車に馬をつながないで、まず俺が歩いてパウリさんのところへ行つて、パウリさんが家にいるかどうか聞くんです。もしいるならば、俺は戻つて、車に馬をつけて出かけて、箱を取つて来るんです。

ビヒエルパウアー　そりゃ、まったく順序が逆だ。どうせ行くならば、はじめから馬車で行けばいい。なぜつて、もしパウリが家において、箱を返して、お前には車がないとすると、どうするんだ。あんな大きな箱をかつぐ訳にもいまい。

ミヒル　なるほど。おっしゃる通りで、旦那。でも、さつきも言ったけど、パウリさんは家にいないかもしれないんだから、そしたらどうします？

ビヒエルパウアー　簡単なことだ。もし実際、奴が家にいなかったら、そのときは戸口に書き置きをさむんだ。そうすればパウリは、お前が来たつてわかるから。

ミヒル　その書き置きの話、俺にはよくわからないな。だって、パウリさんが家にいないのなら、その紙を読めないでしょう。

ビヒエルパウアー　この頓馬の馬鹿。奴が家にいなければ、もちろんその紙を読めんよ。でも帰宅したら読めるだろ。

ミヒル　帰宅したなら、書き置きはいりませんよ。箱のことは、口で言えばすむんだから。

ビヒエルパウアー　この間抜け。帰宅するまで、そんなに長く待つてられんだろうが。

ミヒル　おや、それはパウリさんがどこへ行ったかによりますよ。長くかかるかもしれないし、すぐに戻るかもしれない。

ビヒエルパウアー　よく聞け、ミヒル。事はごく簡単なんだ。今、書き置きをこしらえておこう。床に落ちてるその紙きれを取つてくれ。よし。これに「箱を取りにあがりました」と書く。これでよし。さあ、車に馬をつないで、ベル

ガーとこのパウリへ行つとくれ。家にいれば、それでよし。奴がいなければ、かみさんがいるだろう。かみさんもないかったら、この紙を戸口にはさむんだ。

ミヒル　それも正解つて訳じゃないやね。二人とも家にいるかもしれないよ。それなら、その紙、書くこともなかったんだ。

ビヒエルパウアー　まったくだ。そんなことは考えもしなかった。

ミヒル　ねえ、旦那、あんな箱、パウリさんにやっちまったらどうです？　うちにはあんなガラクタいくらでもありますよ。

ビヒエルパウアー　そうだな。くれてやるか。

ミヒル　で、この紙は？

ビヒエルパウアー　破いてくれ。